

# 意見交換会報告書（公募分）

提出日：平成24年 7月30日

団体名	川内川市街部右岸改修等対策連絡協議会	参加人員	15人
開催日時	平成24年 7月25日（水） 19:00～21:45		
開催場所	中央公民館 第3研修室		
出席議員	〔建設水道委員会〕 7人 今塩屋 裕一（委員長）、山之内 勝（副委員長）、佃 昌樹、橋口 博文、杉菌 道朗、高橋 修二、瀬尾 和敬		
意見交換会の概要	<p><b>会次第</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市議会代表あいさつ（今塩屋裕一委員長）</li> <li>川内川市街部右岸改修等対策連絡協議会長あいさつ（中野 義彦氏）</li> <li>出席議員紹介</li> <li>意見交換</li> </ol> <p><b>意見交換のテーマ： 川内川改修工事は百年の計</b></p> <p>※ 意見交換に当たっては、あらかじめ、①目的達成のために何をなすべきか、②先進地視察の機会はないのか、③その他、の3つの項目が提出されていたが、当日は、配付された資料「地区民からの意見等」を中心に意見交換が進められた。</p> <p><b>【意見交換会開催に応募した背景】</b></p> <p>川内川市街部右岸改修については、一昨年から、市・河川事務所の説明会が開催されているが、各自治会で地区連絡会を結成し、その上部組織として当協議会を、昨年5月30日に発足させた。</p> <p>行政当局と当協議会とは、知識、見方、考え方などのギャップがあり、これを埋めることができない状況が続いている。</p> <p>改修はビッグプロジェクトであり、川北地区にとっては、かつてない大きなまちづくりのチャンスと捉え、「100年の計」として取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>私たちの要望について、先に進む方向性を見出せたらと考えている。</p> <p><b>【「地区民からの意見等」について趣旨の説明】</b></p> <p>《大島地区》</p> <p>① 大島地区下流排水関係について 大島地区の下流側にあるグリーンベルト周辺は、大雨時、急速に水嵩</p>		

が上がり、道路の冠水や居宅への浸水で、不安定な生活を強いられているので、鉄道用地の暗渠に通じるまでの排水溝の整備を。

② アンダー式道路整備について

天大橋交差点のアンダー式道路整備は、具体的な取組について早めに説明会を。

③ 中郷新築堤について

中郷地区堤防の新築堤は、シラス盛土で軟弱なところがあり、浸水箇所も見られる。ブロックシートはされているが、堤防決壊が起こらないよう安全な矢板工法で。

④ 都市計画道路の安全性について

新道路が整備されると、交通量が多くなるため、横断歩道や信号機等の安全対策を。

《東郷通り地区》

① 排水ポンプの容量(600Φ・40トン)が不足するのでアップを。

② ポンプ場周辺の排水ピットと暗渠の断面が小さいので、道路の冠水が異常に速い。

③ 中郷五代線(新市道)と市道大小路線のT字交差点は、信号がないと交通渋滞が間違いなく起こるのでは。

④ あさひ薬局前の通行止め道路は、防災上、非常時に通行できるよう配慮を。特に、隣接自治会との道路アクセス等の連携を早めに。

⑤ ポンプ場に管理倉庫の併設を。

⑥ 新堤防の階段は、踏段高さを低くしてスロープの設置を。

⑦ 渡瀬口・薩摩街道を顕彰するため、新堤防に、案内板等を。

⑧ 新堤防には、川内川河川事務所の発祥の碑を。特に、川内川改修着手に大きく寄与した本市の代表的偉人の山本實彦の顕彰し、各方面の協力を得ながら親水公園の設置等を。

⑨ 中郷五代線の通行は、現在の1日2,600台であるが、整備されると4,700台と予想されている。他の課題ともに早期の説明会を。歩行者・自転車等交通弱者対策についても慎重な配慮を。

《大小路一区・サンパーク川内》

① 国道3号から西側は、改修工事が未定であり、早急に計画説明会を。

② 今回の改修では、当地区周辺の交通アクセス等が不便になる可能性がある。説明会を開催し、関係住民の意見を聞き、十分な反映を。

③ 現在の中郷五代線の国道3号が交差するガードは、消防車・救急車が通行できない。今回の工事に対応を。

④ 太平橋上に右折車線が設置されるが、渋滞が予想される。

⑤ 堤防に設置される階段にスロープの併設を。

⑥ 新堤防には、親水性はもちろんのこと市民が憩えるロケーションを。

【これらを踏まえ意見交換】 (○：団体、●：議員)

○ 本市のビッグイベントであるはんや踊りや大綱引について、国道を使うのではなく、河川敷の有効活用はできないか。

○ 現状では無理かと思われるが、河川敷の有効活用について研修する必要はある。

○ 中郷の堤防は、シラスの盛土であり脆い。ここが決壊すれば、中郷は

おろか大小路まで浸水する。矢板を使った頑丈な堤防を要望しても、河川事務所の理解を得られない。

- 工事計画は容認しているのか。
- 諸々の状況から容認せざるを得なかった。
- 全体計画を了承した上で対応しないと、先に進まないのでは。
- 反対だけでは前に進まない。協力はしながら利活用策を協議していけばどうか。
- 昔はあった川が現在はない。こういうことは影響があるのでは。古い「字絵図」を調査して対策を練る方法もある。
- しっかりとしたボーリング調査が実施されないといけないのでは。
- 中郷五代線と国道3号との交差ガードは、消防車・救急車が通行できない。市道でもあるし何とかできないか。
- 20cmほど掘り下げ、ガードの高さを270cmにすれば、通行は可能なはず。掘り下げても、排水を上手くやればよい。
- 大小路排水ポンプの容量を、現状の600φ、40トンから、せめて500φ2本の70トンクラスにしないと、大雨の度に苦勞する。排水路を集中しており、改善が必要。排水路を直角ではなく斜めに入れることで排水がしやすくなるのでは。現場の状況を、議員等も確認してほしい。
- 市当局では、本年度中に市全体の排水場の解析することになっているので、それをみてしっかりと対応する。
- 想定外の自然災害が頻発しているので、検証解析はしっかりとやって欲しい。
- 天大橋交差点付近のアンダー式道路整備については、段差がついて土地利用に不備が出る恐れがあるので、早めに情報を提示して欲しい。
- 中郷五代線と市道大小路線の交差点は、信号が無いので、交通渋滞が起きる。
- 交通安全協会へ要望したらどうか。
- 川内川改修工事に大きく関わった山本實彦を顕彰する親水公園をつくり、歴史的文化的な人的遺産として残すべきだ。
- 市に出した要望書については、どのような回答となっているか。
- 要望書を提出した際に、状況の説明を口頭で受けた。特に文書ではない。
- 議員の視察で、参考となるところはないか。
- 県外視察では、いろいろな事例があった。
- 大都市の状況とは異なる。天降川河川敷が参考になるのではないか。